

1. 件名：東海再処理施設の安全対策に係る廃止措置計画変更認可申請に係る面談
2. 日時：令和2年4月14日(火)13時30分～17時00分
3. 場所：原子力規制庁10階会議室 ※TV会議にて実施
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 審査グループ 研究炉等審査部門

細野企画調査官、田中主任安全審査官、有吉上席安全審査官、小舞管理官補佐、
堀内安全審査官、内海研開炉係長、加藤原子力規制専門員

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

バックエンド統括本部 本部長代理

事業計画統括部 次長

再処理廃止措置技術開発センター 副センター長 他13名

5. 要旨

○原子力機構から、資料に基づき安全対策に係る廃止措置計画変更認可申請への対応状況について説明があり、今までの面談等でのコメントを踏まえた地震対策の基本的考え方等に係る資料等が示された。

○原子力規制庁より、以下の通りコメントを伝えた。

(資料2について)

- ・本日示された地震対策の基本的考え方において、HAW及びTVFに係る地震対策の方針として①(Sクラス施設については、廃止措置計画用地震動(以下「設計地震動」という。)に対して耐震性を確保する)と②(HAW及びTVFの電源等の既設設備について、有効性を確認した代替策を持って必要な対策を講ずる)としているが、当該①及び②については、「いつまでに、何をするのか。」という観点を明確にし、実施する対策の内容に係る考え方を示すこと。
- ・上記の②において、「代替策としての有効性を確認」としているところ、この「有効性」について、機構が想定する具体的な内容を示すこと。
- ・上記の②における「既設の電源設備等の恒設設備は設計地震動に耐えるようにすることが困難である」としているが、なぜ困難であるのか、具体的に説明すること。
- ・なお、以前の面談等でも申し上げているが、既設の電源設備等については、事故発生後の長期的な事故対応等を考慮した場合、可能な限り地震津波等から防護し、供用可能な状態を維持することが望ましいと考えている。いずれにしろ、既設の電源設備等の取り扱いについては、明確な方針を示すこと。
- ・上記のHAW及びTVFに係る地震対策の方針の有効性の説明においては、重大事故対処設備が地震時に使用可能なことを裏付けるため、重大事故対処設備が設置・保管されている約18mの高台(旧転換駐車場)の地盤の地震時健全性、地震時の事故対処に係る対応に必要な上記高台とHAW等とのアクセスルートの地震時健全性など評価も適切に示すこと。
- ・本日の資料では、設計地震動に対し機能維持するHAW施設のSクラス等の施設のリス

トが示されているが、4月7日の面談におけるHAWの耐震設計基本方針では、HAW施設における機能維持は事故対処に必要なSクラス施設に限定して説明していたことから、本日示された機能維持対象の施設のリストを踏まえ、耐震設計基本方針を適切な内容に修正すること。

- ・本日の説明において、「Sクラス施設」という用語を用いているが、資料の注釈にもあるとおり、そもそも東海再処理施設の事業指定申請書においては、HAW施設等にSクラス施設なるものは存在せず、旧分類のA類とされているものをSクラスとして見なしているだけである。したがって、Sクラスとして見なしている施設が、現在の基準でいうSクラスと同等とは必ずしも言えない（同等と見なす判断について、審査の中で確認をしているものではない）ことから、地震対策の対象施設の説明では、閉じ込め機能等の「護るべき安全機能」を明確にし、その機能を担保する設備について、網羅的にリスト化、及び護ることを示すことが重要と考えているので、説明の方法を工夫すること。

（資料4について）

- ・代表漂流物の選定に係る説明において、小型船舶のトン数を19トンとしていることなど「選定の考え方」について、より丁寧な説明をすること。

（資料6について）

- ・ウラン貯蔵所等における津波浸水時の津波流入の経路の説明において、本日の説明では主にシャッター一部分の破損による浸水を想定しているが、当該貯蔵庫等がSクラス等の耐震性を持たない施設であることを踏まえると、地震によってシャッター部以外の浸水口が発生する可能性は否定できないと考えているところ。浸水経路について、様々なルートを検討し、固縛等の対象物の流出可能性を説明すること。

○原子力機構より、承知した旨返答があった。

6. 配付資料

資料1：東海再処理施設の廃止措置に係る高放射性廃液貯蔵場の津波対策について

資料2：TRPの廃止措置を進めていく上での地震対策の基本的考え方（案）

資料3：東海再処理施設 廃止措置段階における安全対策の実施に係る全体スケジュール（ドラフト版）

資料4：東海再処理施設における代表漂流物の選定について

資料5：東海再処理施設における漂流物防護対策について

資料6：漂流物となり得る設備等の固縛等の対策について

資料7：HAW施設の外壁の補強について

資料8：HAW施設建家貫通部からの浸水の可能性について

資料9：東海再処理施設の安全対策に係る5月までの面談スケジュール（案）